

一般社団法人 食文化ルネサンス

理事会を開催し、4つのプロジェクトを採択！

会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております！

食文化ルネサンスでは、わが国の食文化の発展並びに外食産業の振興に必要なプロジェクトを会員が自主的に立ち上げ、分科会を編成して取り組んでいくことになります。

そのため、11月5日の理事会開催前に、すべての理事・会員の皆様に今年度の事業提案に関するアンケートを取り、その提案を基に理事会で議論した結果、以下の4つのテーマに取り組むことが決定しました。

テーマ毎に分科会(委員会)を設置し、プロジェクトを推進していきますので、参加を希望される分科会を明記の上、11月25日までに事務局までご連絡ください。

本会の活動はひとえに会員の皆様の積極的なコミットメントにかかっています。ご自身の問題意識にかなう分科会のメンバーに登録していただき、積極的にミーティングにご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。 ※各プロジェクトの概要については、次頁をご覧ください。

1 マニフェストの作成と推進

(提案者:米田肇理事)



2 郷土食を通じたツーリズム

(提案者:二之湯武史専務理事)



3 経営環境改善

(提案者:鎧塚俊彦理事)



4 働き方改革の検討

(提案者:高橋託児理事)



<活動報告>

○9/28にオンラインカンファレンス(YouTubeライブ配信)を実施。

※同動画は「食文化ルネサンス」で検索すれば、今でもご覧いただけます。



冒頭、宮田文化庁長官のお祝辞を杉浦審議官が代読された。



セッション①「食を文化に！」



セッション②「コロナ危機を乗り越える」

○11/5に第2回理事会をオンラインで開催。

※活発な議論の結果、4つのプロジェクトの立案を決議しました。



画面上で意見交換。



事務局から4人の理事が参加。

令和2年度に立ち上げる4つのプロジェクトとは

1 マニフェストの作成と推進

大量生産・大量消費社会から持続可能な社会への転換が進む中、食文化を取りまく環境も変化に迫られている。食資源の管理の問題(SDGs)、GAPやHACCPなどの食の安全規格の問題、歴史や地域性などの食文化の多様性の問題、など社会的観点からわが国の食文化のあり方を今一度マニフェストという形で整理し、内外に広く発信していく。

※北欧諸国のマニフェスト

2004年、資源の持続可能性、地域の食文化、生産者との連携など10か条からなるマニフェストを発表。デンマークを中心に、北欧の食文化が世界から注目を集める契機となった。

2 郷土食を通じたツーリズム

豊かな自然と変化に富む気候風土から生み出されたわが国の多様な食文化。現在、その重要な文化が後継者不足や質の低下など持続可能性の危機に瀕している。

社会的に影響力のある本法人の会員が選定した郷土食を、現地での講習や情報発信などを通じてツーリズムにつなげ地方創生を実現していく。

3 経営環境改善

業界の構造上、利益の出にくい外食産業のさらなる発展のために、あるべき国の支援策や税制などを、会員が議論し国に提言する。また、特に料亭業態に見られる風営法等の実態にそぐわない規制に関しても改善策を国に提示する。

4 働き方改革の検討

外食産業が持つ独特のスキル向上環境と働き方改革の方向性とを実態に合った形で融合させていくために議論を進める。特に、自己研鑽の時間確保を労使双方の立場から矛盾なく実現するために、外食産業の現状に照らして提言をまとめる。

■理事メンバー

[理事長] 茂木友三郎 [専務理事] 二之湯武史

[理事] ※五十音順

石井真介、落合務、岸久、須賀洋介、杉山衛、高橋拓児、田中誠二、辻芳樹、中川純一

生江史伸、服部幸應、樋口宏江、堀井良教、三國清三、村田吉弘、米田肇、鎧塚俊彦、脇屋友詞

<連絡先> ※参加を希望する分科会を明記の上、11月25日までに以下にご連絡ください。

食文化ルネサンス事務局 担当:小黒/仲野

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-13-4 新中央ビル3階

TEL: 03-6276-3072 FAX: 03-3374-6401 E-mail: jgr200901@gmail.com

Facebookページでも今後情報発信をいたします: <https://www.facebook.com/shokubunka.r/>